



学校だより



千葉市立
みつわ台北小学校
2月号
(R8年2月2日)

春に大きく飛躍するために

校長 池内 哲夫

日頃より本校の教育活動へのご理解、ご協力ありがとうございます。2月を迎えました。厳しい寒さの中で、一見枯れたように見える木々も、その外見の裏側では芽吹く準備を着実に進めています。冬の間蓄えた養分があるからこそ、春の訪れとともに美しい花を咲かせることができるのです。

さて、先日、みつわ台南小学校を会場として、千葉市球技大会が開催されました。球技大会はブロック毎で開催されます。みつわ台ブロックの参加校はみつわ台南小、みつわ台北小、北貝塚小です。

男子はサッカー、女子はミニバスケットボールを行いました。子どもたちは、最初は緊張していた様子が見られましたが、慣れてくると大きな声を出し、伸び伸びプレーすることができました。試合は勝つことはできませんでしたが、子どもたちは「経験」という貴重な宝を得ました。仲間と積み重ねてきた2カ月間の練習、そして、大会での他校との試合を通して様々なことを経験しました。その経験を未来の自分の成長に活かしてほしいと考えています。球技大会を終えた6年生は、卒業に向かって動き始めました。

5年生は千葉市少年自然の家に2泊3日の移動教室に行きました。キャンドルづくりやクラッキングウォール、ナイトハイク、焼き芋づくりなど、教室ではできない様々な活動をしました。晴天にも恵まれ、すべての活動を自然の中で元気いっぱいに行いました。活動後は宿泊棟の部屋で先生や友達と楽しくトランプをしたり、話したりと普段できない貴重な時間を過ごすことができました。仲間と自然の中で様々な活動した「経験」は得難いものです。移動教室を終えた5年生は「6年生を送る会」の準備に入ります。

卒業や中学校へと前を向いている6年生、次の最高学年としての自覚を育てている5年生の姿など、成長する子どもたちの姿は見ていてうれしくなります。

5・6年だけでなく他の学年においても主体性や社会性、体力面などでこの一年間の成長を感じる場面が多々あります。

あと2カ月ほどで進級・進学を迎えます。どの学年においても、この時期にしっかりと学習や活動を充実させて、春の芽吹きに備えたいと思います。